

事業評価シート

事務事業名	家庭教育事業費	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	生涯学習講座の充実	事業コード	4322

事業の目的	心豊かな子どもを育てるために家庭教育の重要性について啓蒙を図る。			
事業の内容	子育て講座、思春期講座の開催			
事業の対象	就学児童の保護者、中学生、その保護者			
事業費	年度・区分	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度予算
	金額	94 千円	90 千円	241 千円

事業の効果等	就学時健診等を活用した講演会では対象となる保護者がほぼ全員参加できるので、就学後の子育てに効果的である。又、講師の選定では、親の心に響きやすく、わかりやすい講演を企画しており、充実した内容となっている。思春期講座では、中学生が抱える思春期特有の悩みや人間関係について学習し、意見や質問なども多く興味深い内容となった。
--------	--

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	就学児童対象の子育て講座では今後も園・学校と連携して就学時健診時に行い、保護者が興味を持てる内容としたい。思春期講座は中学校の統合もあるため全校対象とした企画を考えたい。また、23年度は町民向けに「子育て講演」を予定し、地域全体で子どもを見守り育てる取組みを強化していきたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	住民の要望・地域的な活動の特色など十分聞き入れる体制をとり、マンネリ化しないよう、より一層事業発展に努めていただきたい。
------	---	--------	--